

# 第11章 各主体の協働による環境保全の推進

## 第1節 環境教育の推進【環境再生課、義務教育課、県立学校教育課、生涯学習振興課、自然保護課】

### 1 沖縄県環境教育等推進行動計画の策定について【環境再生課】

今日の環境問題は、経済発展の過程で生まれた大量生産・大量消費、大量廃棄型の経済社会システムや生活様式によって、廃棄物の増大、自動車排出ガス等による大気汚染、生活排水による水質の汚濁などの生活に密接なものに加え、地球温暖化や生物多様性などの地球規模の問題に至るまで、複雑かつ多岐にわたっています。

県では、「沖縄県環境教育推進方針」（対象期間は平成18年度から平成24年度まで）を策定し、各種施策を展開してきましたが、複雑化する環境問題に効果的に対処するためには、横断的な環境保全活動や環境教育を体系的に推進することが重要となっています。

そこで、環境・教育行政関係者、学識経験者、県民代表から構成する「沖縄県環境教育等推進行動計画作成検討協議会」を設置し、本県の特性に応じた環境教育・協働の取組を推進するため「沖縄県環境教育等推進行動計画」（対象期間は平成26年度から平成34年度）を平成26年6月に策定しました。

本計画では、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」の実現を目指し、3つの目標を掲げています。

- ・環境問題に気づき、学習し、主体的な判断ができる人が育つ
- ・環境問題の解決に向けて自ら進んで取り組む実践的な人や組織が育つ
- ・環境保全活動の輪が広がり、環境のもたらす恵みを次世代に引き継ぐ

また、平成30年度に本計画の中間見直しを経て、改訂計画（平成31年3月）を策定しました。

今後とも、改訂計画に基づき、市町村、家庭、学校、地域社会、事業者、民間団体など様々な主体とともに環境教育を推進していきます。

### 2 学校等における環境教育の推進【環境再生課、教育庁義務教育課、教育庁県立学校教育課】

#### (1) 沖縄県環境教育プログラム【環境再生課】

本県の豊かな自然環境を保全し、次世代に継承するためには、環境教育を学校教育で取り入れ、実践することが重要とされています。そこで、県では学校現場等における環境教育・環境学習の実践に役立つ教材として、地域の環境特性や児童生徒の発達に応じた体験型のプログラム『沖縄県環境教育プログラム（小学校編）（中学校編）（高等学校・環境団体編）』を平成15年度から17年度にかけて作成し、県内の小中高等学校や教育機関、図書館等へ配布しております。また、県環境再生課のホームページにも掲載しています。

本県の環境保全活動・環境学習の拠点である

沖縄県環境教育プログラム  
（小学校編）



沖縄県環境教育プログラム  
（中学校編）



沖縄県地域環境センターにおいて、地域や学校等の要望を受け、環境教育プログラム等を活用した出前講座等を実施しています。

(2) 環境教育研究推進校の指定【教育庁義務教育課、教育庁県立学校教育課】

児童生徒に環境問題について関心を持たせ、環境に対する責任感や使命感の育成を図ることを目的として、県教育委員会において、平成4年度から環境教育研究推進校としてこれまでに21校（小学校3校、中学校4校、高等学校14校）を指定してきました。

(3) 学校現場における指導者の育成【教育庁義務教育課、教育庁県立学校教育課】

県立総合教育センターにおいて、小・中・高・特別支援学校教員を対象にした環境学習指導講座を実施し、環境教育に関する指導内容、指導方法等の研修を行い、その資質を高めるとともに、「学校教育における指導の努力点」を示し、各学校における環境教育の一層の充実を図っています。

3 こどもエコクラブ活動の支援【環境再生課】

こどもエコクラブ事業は、環境省の事業として平成7年度から始まり、地方自治体や企業などの協力を得て、次世代を担う子供たちに、地域の中で楽しみながら主体的に環境活動や環境学習を行う機会を提供し、支援していくことを目的としています。3歳幼児～高校生の子どもとそれを応援するサポーターで結成されます。平成23年度からは公益財団法人日本環境協会が事業を継承して全国事務局、県や市町村が地域事務局となり、環境保全活動を支援しています。

表 11-1-1 こどもエコクラブ登録状況

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
クラブ数	24	26	29	19	21	24	21	20	17	18
会員数	711	687	765	637	464	605	572	562	556	582

表11-1-2 こどもエコクラブ県内事務局

平成31年3月現在

自治体名	部課名	電話番号	郵便番号	住所
沖縄県	沖縄県地域環境センター (公益財団法人沖縄こどもの国)	098-933-4190	904-0021	沖縄市胡屋5-7-1
那覇市	環境部環境保全課	098-951-3229	900-8585	那覇市泉崎1-1-1
浦添市	市民部環境保全課	098-876-1234 (3221)	901-2501	浦添市安波茶1-1-1
沖縄市	市民部環境課	098-938-1516	904-8501	沖縄市仲宗根町26-1
宮古島市	生活環境部環境衛生課	0980-75-5339	906-0006	宮古島市平良西仲宗根565-6
金武町	住民生活課	098-968-2460	904-1292	金武町金武1
与那原町	生活環境安全課	098-945-4688	901-1392	与那原町字上与那原16
南風原町	はえばるエコセンター	098-889-4425	901-1195	南風原町字兼城686 南風原町役場住民環境課内
八重瀬町	住民環境課	098-998-8203	901-0492	八重瀬町字東風平192-8 (東風平庁舎)
竹富町	政策推進課	0980-82-6191	907-8503	石垣市美崎町11

## 第11章 各主体の協働による環境保全の推進

本県では、各エコクラブ活動に対して環境保全に関する情報の提供や活動に対する助言等の支援を行っています。

本県のエコクラブの活動は、全国的にも評価され、全国のこどもエコクラブ会員との交流を目的としたイベント「こどもエコクラブ全国フェスティバル」において、これまでに本県のエコクラブが各種の賞を受賞しています。

### 【表彰状況】

○こどもエコクラブ全国フェスティバル2016

文部科学大臣賞 西表ヤマネコクラブ（竹富町）

○こどもエコクラブ全国フェスティバル2014

こどもエコクラブ大賞 西表ヤマネコクラブ（竹富町）

○こどもエコクラブ全国フェスティバル2013

こどもエコクラブ大賞 もとぶ元気村こどもエコクラブ（本部町）

## 4 地域における体験学習の推進【生涯学習振興課、自然保護課】

### (1) 青少年教育施設における体験学習の実施【生涯学習振興課】

各地域の青少年の家において、「ホテル観察会」、「こどもサンゴ教室」、「大野山林自然散策」、「イザリ漁体験教室」など、環境問題に関連した体験活動型の事業を実施することで、本県の豊かな自然と伝統文化に関心を持ち、環境保全について考える場を提供しています。

### (2) 保全利用協定制度の推進【自然保護課】

自然環境の保全と持続的な利用を目的として、利用するフィールドごとに、環境保全型自然体験活動（いわゆるエコツアー）を営む事業者間で策定したルールを、沖縄振興特別措置法に基づき知事が認定する「保全利用協定制度」を推進しています。

※「保全利用協定の認定状況」は、第9章第2節に掲載

## 第2節 普及啓発活動の推進【環境再生課、環境政策課】

### 1 環境月間関連行事の実施【環境再生課】

県では、毎年6月の環境月間において、県民、企業、民間団体、行政の参加と協力のもと、持続可能な社会の構築に向けた県民一人ひとりの意識高揚と実践を促進するとともに、環境保全活動のすそ野を拡げていくため、環境保全活動の普及、啓発に関する各種行事等を実施しています。

表 11-2-1 県主催の主な行事（平成 30 年度）

行事名	内容	実施日及び場所
1 街頭キャンペーン	街頭でのパンフレット・苗木配布、低公害車の展示	6/1 パレットくもじ前広場
2 環境月間記念講演会	県民の環境保全意識の高揚を図るための講演会の開催	6/12 県庁4階講堂
3 最終処分場等総点検	産業廃棄物の適正処理及び安全管理を推進するため、県内の産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の総点検を実施	6月～11月末 県内一円
4 赤土等監視合同パトロール	赤土等流出の危険性の高い梅雨時期において、事業現場等からの赤土等流出防止を図るため、県の関係機関で合同パトロールを実施	6月中 県内一円
5 環境パネル展	環境保全に対する県民の意識の高揚を図るため、環境問題に関するパネルを展示	6/7～6/29 県庁1階県民ホール
6 施設見学	児童生徒による環境保全関連施設の施設見学	6/1～30 廃棄物処理施設等
7 工場、事業所立入検査	・フロン類の適正な回収の確保を図るため、第一種フロン類充填回収業者等の立入検査を実施 ・特定事業場への立入検査を行い、水質汚濁の防止と適正化を図る。	6/1～29 県内一円

## 2 沖縄県環境保全功労者表彰の実施【環境政策課】

県では、環境保全に関し特に顕著な功績のあった個人や団体を対象として、沖縄県環境保全功労者表彰を実施しています。

平成30年度の受賞者は下記のとおりです。

表 11-2-2 平成30年度受賞者

(3個人、2団体)

No.	分野	細分野	受賞者の氏名又は名称
1	環境保全	環境保全行政の推進	津嘉山 正光
2	環境保全	環境保全行政の推進	新城 和治
3	環境教育	環境保全活動	藤井 晴彦
4	赤土等流出対策	赤土等流出対策	特定非営利活動法人おきなわグリーンネットワーク
5	環境教育	環境保全活動	うらそえ里浜ネットワーク実行委員会

## 3 沖縄県地域環境センターの管理・運営【環境再生課】

県では、沖縄県における環境保全活動の拠点として、沖縄県地域環境センター（場所：公益財団法人沖縄こどもの国）を設置しています。同センターでは、環境に関する図書・資料・ビデオ等の閲覧や貸出、環境学習に関する県民等からの照会への対応、勉強会や総合学習に対するサポート、出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を実施するなど、様々な活動を行っています。平成30年度のセンター来館者数は約4,165名、地域や学校等における環境保全啓発活動の参加者数(延べ)は約5,914名（啓発活動回数61回）となっています。啓発活

## 第11章 各主体の協働による環境保全の推進

動の活動地域は県内全域を対象としており、平成30年度は本島内57回、離島（石垣市、久米島町、座間味村）で4回実施しました。

表 11-2-3 沖縄県地域環境センターの活動状況（H24～30年度）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
環境保全活動回数	52	38	61	51	60	65	61	388
環境保全活動参加者数	2,518	2,623	3,376	3,152	4,621	6,277	5,914	28,481
沖縄県地域環境センター来館者数	4,672	4,678	3,514	4,523	5,324	4,337	4,165	31,213
沖縄県地域環境センター設置場所	沖縄こどもの国 チルドレンズセンター内							

## 第3節 行政の自主的な環境保全活動の推進【環境再生課】

### 1 沖縄県環境保全率先実行計画の推進

県自らが一事業者、一消費者としてあらゆる事務事業において環境へ配慮した行動を率先して実行するため、平成11年6月に「沖縄県環境保全率先実行計画」を策定し、エコオフィス活動の推進に取り組んでいます。

(1) 計画期間：第1期 平成11～14年度（基準年度は平成10年度）

第2期 平成15～18年度（基準年度は平成13年度）

第3期 平成19～22年度（基準年度は平成12年度）

第4期 平成23～32年度（基準年度は平成21年度）

(2) 対象範囲：県の全機関

(3) 計画の目標（第4期）

①地球温暖化対策の推進：温室効果ガスの排出量 基準年度比 21%削減

②グリーン購入の推進：環境物品調達率 100%

③省資源の推進：上水の使用量基準年度比 10%削減、紙類の使用量 基準年度比 10%削減

④廃棄物の減量化、リサイクルの推進：廃棄物排出量 基準年度比 10%削減・リサイクル率 40%以上

### 2 環境マネジメントシステム（ISO14001）の推進

県の事務事業においてより一層、環境に配慮して取り組むため、平成29年9月に県庁行政棟を対象に環境マネジメントシステムを導入し、平成30年2月22日にISO14001の認証を取得しました。本県の環境マネジメントシステムは、環境基本計画に示されている「沖縄県が目指す環境像」、「沖縄県基本条例の基本理念」、「基本目標」を環境方針に掲げ、その実現に向け環境基本計画にある「主な取組」を環境目標とし、県の環境関連の事務事業において継続的に改善を図りながら推進しています。